

校報

# ひかり

校訓

自律 敬愛 創造

自ら学ぶことを志す  
自ら律することを志す  
自ら鍛えることを志す



## 「学校評価アンケート」の結果について

教務

本校では年2回、7月と12月に生徒・保護者・教職員を対象にアンケートを実施し、本校に対する評価を行っています。そして、そのアンケート結果を分析し、指導方法の改善を図り、これからの教育活動に反映させたいと考えています。今回は12月に実施しました「学校評価アンケート」の結果を、7月の調査と比較をしながら、本年度の重点課題をもとに報告します。

※グラフの見方について

各円グラフ内の数値は12月の調査ポイントを表しています。( )内の数値は7月の調査からの±(加減)を表しています。

### 本年度の重点課題

#### (1) 安全・安心な学校

95%の生徒が「いじめをしない、させない、許さない」を実行できた」と答えています(図1)。また、96%の保護者が「子どもは友達と仲良く楽しい学校生活を送っている」と感じています(図2)。

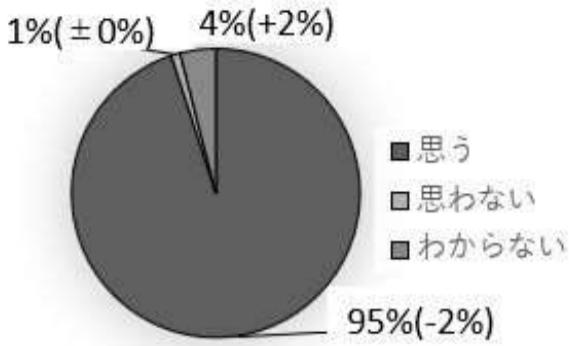


図1 「いじめをしない、させない、許さない」を実行できたか。(生徒アンケートから)

#### (2) 自立の基盤となる力の育成

「分からないことは先生に質問しているかどうか」について76%の生徒が「質問をしている」と答えています(図3)。

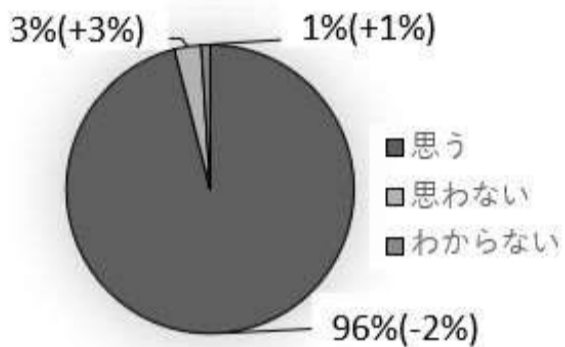


図2 お子様は友達と仲良く、楽しい学校生活を送っていると思えますか。(保護者アンケートから)

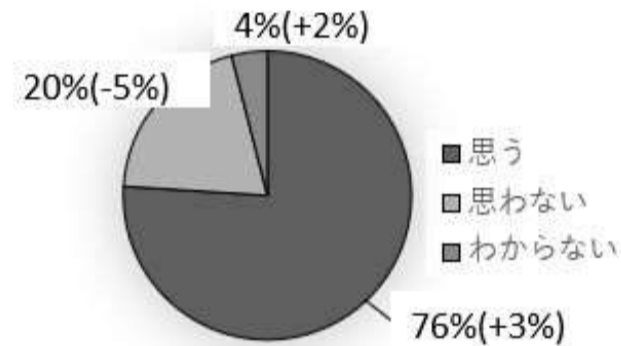


図3 分からないことは先生に質問しているか。(生徒アンケートから)

「家庭学習の習慣がついていますか」の回答では63%の保護者がついてきていると感じています。この値は昨年度と同様の調査よりも11%も上がっています。さらに80%の教職員が、「生徒に学び

合う姿勢が育ってきている」と回答しています(図4)。

全ての生徒にとってわかりやすい授業づくりや、生活しやすい学級づくりを一層推進し、個に応じた課題の与え方など、生徒の望ましい生活・学習習慣づくりの推進について、検討をしていきます。

図4 生徒に学び合う姿勢は育っているか。(教職員アンケートから)

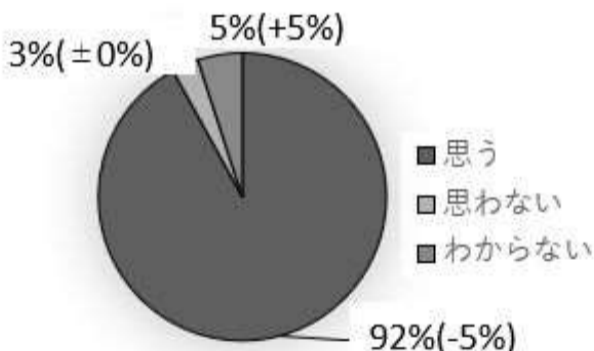


図5 部活動に積極的に参加しているか。(生徒アンケートから)

次に教職員アンケートで「キャリア教育の充実が図れたか」の質問について、56%の教職員が思うと答えています。コロナ感染拡大防止の観点から学校が臨時休業となり自然体験、就業体験など

ができない状況であったのが数値の低さに出ていると考えます。12月調査時にはトワイやる・アクション、講師招聘情報モラル講演会、経営者を招いたキャリア教育講演会などを、コロナ対策をしながら行いました。今後も社会参画に必要な態度や能力を育てるための体験活動を行い、生徒たちが将来、社会的職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力の充実に努めていきます。

#### (3) 地域や家庭、関係機関との連携

94%の生徒が「地域の人に元気な挨拶ができています」と答えています(図6)。そして89%の生徒が「学校に行くのが楽しい」と答えています。

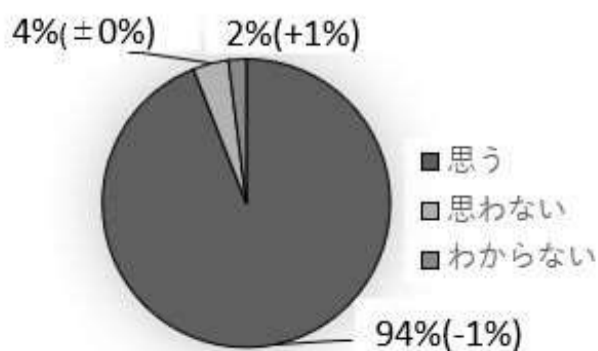


図6 地域の人に元気な挨拶ができていますか。(生徒アンケートから)

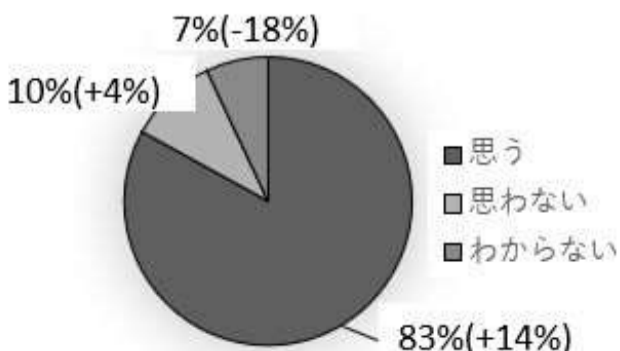


図7 達成感を感じる学校行事を展開できていると思えますか。(教職員アンケートから)

達成感を感じる学校行事を展開できていると思えますか。83%の保護者が「達成感を感じる学校行事を展開できている」と感じています(図7)。

深めながら工夫した学校行事を行い、「校報」「学年通信」「学級通信」「ホームページ」を通して情報発信を積極的に行っています。

(4) 協働する教職員組織

道徳の職員校内研修会の実施は当初3回の予定でしたが、全国一斉の休校もあり今年度は2回の実施となりました。回数は少ないものの各学年で教員が連携し授業の指導案を作ったり、授業をもとにした研修で指導力の向上に向けた協議を深めることができました。

一方、教職員の勤務時間適正化の推進(「定時退勤日」「ノー会議デー」「ノー部活デー」の完全実施を目指す)については、期日の設定はできたものも定時退勤は前回よりも4ポイント下り、64%の教職員ができてないという結果となりました(図8)。毎日遅くまで残って仕事をしている実態があります。

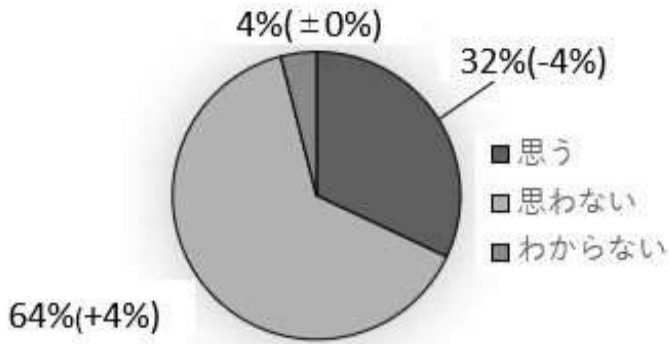


図8 ノー残業デー、ノー部活デー等勤務時間の適正化が推進できたか。(教職員アンケートから)

今後も学校長のリーダーシップのもと、「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づく取組を着実に進め、職員が心身ともに健康で余裕をもって生徒と向き合う時間をしっかりと確保していきます。また学校教育目標・重点課題の共通理解を図りながら教職員一人ひとりの能力・適性を活かした学校運営に努め、教職員全員が協力して、機動的に対応できる組織を構築していきます。

これらアンケート結果をさらに分析・研究し、これからも保護者や地域の方から信頼される開かれた

山崎東中学校をめざしていきます。

集計データ

生徒アンケート	234件
保護者アンケート	224件
教職員アンケート	25件
R2 12月実施	

ストップ！コロナ差別

(シトラスリボンプロジェクト)

感染された人には「お大事になさって、早くお元気になってください」と。  
治療を終えて帰ってこられた人には「おかえり！大変だったね」と。  
私たちの暮らしを守り、支えてくださる人々には「ありがとうございます。」  
そう心から言いあえる空気を、つくりませんか？  
「ただいま」  
「おかえり」  
心から言いあえるひとの輪を 六栗にも



誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、一人ひとりの感染対策に加え、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染しても、誰もが地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さです。感染された方や医療や介護等に携わっていた方々が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」とあたたかく受け入れられる雰囲気をつくり、差別や偏見のない、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。(六栗市まちづくり推進部人権推進リーフレットより)

これは、愛媛県の有志グループがすすめるプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色

の三つの輪でできたリボンを身につけたり、飾ったりすることで、思いやりの輪を広げていこうとする取組です。三つの輪は、「地域」「家庭」「学校(職場)」を表しています。

この呼びかけに賛同して本校生徒会では、一月十四日の午後、二時間をかけてシトラスリボンづくりに取組みました。後日、生活日誌に書かれていた生徒の感想を紹介します。

- ・ つくるのが難しく、一個しかつくれませんでした。でも、この体験を通してコロナに対する差別をしないことの大切さを、より一層感じるこゝとができました。(一年)
- ・ はじめは難しかったけれど、帰ると家族もとても喜んでくれて、うれしかったです。(一年)
- ・ 最初は全然できなくて教えてもらってつくりました。でも、三年生に教えるときにはスムーズにできました。意外と難しいと思ったけれど、先輩と関わることができてとても楽しかったです。(二年)
- ・ リボンづくりは複雑で、とても難しかったです。わかった子がわからない子に教えてあげて、その子が他の子に教えていきました。みんなで完成させて、みんなの絆が深まったと思います。(二年)
- ・ つくり方のコツをつかんだ後は、簡単に思えて楽しかったし、いい思い出になりました。おじいちゃんやおばあちゃんにもあげたんですが、仕事場のドアに飾ってくれました。うれしかったです。指を痛めても、つくった甲斐があったと思います。(二年)
- ・ つくり方が難しく、できるまで三十分くらいかかりました。でも二つ目からは早くでき、みんなで助け合いながらできていたので、いい時間だったと思います。(三年)
- ・ めっちゃ難しかったけれど、できたときの達成感は何とも言えないくらいすごかったです。(三年)

各教室での作成風景



2月の予定

- 16日(火) 公立高校推薦・特色入試
- 19日(金) 入学説明会
- 21日(日) 公立高校推薦・特色入試合格発表
- 24日(水)~26日(金) 期末テスト
- 25日(木) 3年生愛校作業
- 26日(金) 3年生生命の授業

3月の予定

- 3日(水) 3年生を送る会
- 9日(火) 3年生給食最終日
- 10日(水) 第33回卒業式
- 12日(金) 公立高校一般入試
- 19日(金) 公立高校一般入試合格発表
- 23日(火) 1, 2年生給食最終日
- 25日(木) 第3学期終業式  
ならびに修了式
- 26日(金)~4月6日(火) 春季休業日

